

教科	社会（歴史）	学年	第1学年
----	--------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
私たちと歴史 歴史の流れをとらえよう	3	○小学校で学習した歴史上の人物などについて振り返り、年表に整理する作業などを通して、時代の特色や歴史の移り変わりへの興味・関心をもつ。 ○時代区分の方法や年代の表し方(西暦・世紀・年号)について理解し、年表の表し方を身に付ける。	○課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ○課題を追究したり解決したりする活動を通して、資料から情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	○時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	○私たちと歴史の活動を通して、歴史学習に向けて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
身近な地域の歴史 身近な地域の歴史を調べよう	6	○身近な地域の歴史について、情報を収集したり、情報を整理し表現したりするなど、調べ学習の基礎を身に付ける。 ○諸資料や文化財を活用して、地域の歴史を多面的・多角的にとらえ、表現する。	○課題を追究したり解決したりする活動を通して、地域の伝統や文化への関心を持ち、調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	○課題を追究したり解決したりする活動を通して、比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

<p>原始・古代の日本と世界</p>	<p>15</p>	<p>○世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。</p> <p>○日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。</p> <p>○律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。</p>	<p>○世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</p> <p>○日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。</p> <p>○律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</p>	<p>○古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○古代までの日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
--------------------	-----------	--	---	---	--

<p>中世の日本と世界</p>	<p>13</p>	<p>○ 鎌倉幕府の成立，元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に，武士が台頭して武家政権が成立したことを理解させる。</p> <p>○ 南北朝の争乱と室町幕府，日明貿易，琉球の国際的な役割などを基に，武家政治の展開と東アジア世界との関わりについて理解させる。</p> <p>○ 農業など諸産業の発達，都市や農村における自治的な仕組みの成立，応仁の乱後の社会的な変動などを基に，民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。</p>	<p>○ 鎌倉幕府の成立，元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に，武士が台頭して武家政権が成立し，元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</p> <p>○ 南北朝の争乱と室町幕府，日明貿易，琉球の国際的な役割などを基に，武家政治の展開と東アジア世界との密接な関わりについて理解している。</p> <p>○ 農業など諸産業の発達，都市や農村における自治的な仕組みの成立，応仁の乱後の社会的な変動などを基に，民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</p>	<p>○ 武士の政治への進出と展開，東アジアにおける交流，農業や商工業の発達などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，武家政治の成立とユーラシアの交流，武家政治の展開と東アジアの動き，民衆の成長と新たな文化の形成について，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>○ 中世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現</p>	<p>中世の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<p>近世の日本と世界</p>	<p>17</p>	<p>○ ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。</p> <p>○ 江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。</p> <p>○ 産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを基に，</p>	<p>○ ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎がつけられたことを理解している。</p> <p>○ 江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解している。</p> <p>○ 産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを基に，</p>	<p>○ 交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的，産業の発達と文化の担い手の変化，社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，世界の動きと統一事業，江戸幕府の成立と対外関係，産業の発達と町人文化，幕府の政治の展開について，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	<p>○ 近世の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>

	<p>都市の文化や各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。 ○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。</p>	<p>都市の文化や各地方の生活文化が生まれたことを理解している ○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</p>	<p>○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	
--	---	--	--	--